

気まぐれ通信

平成29年7月10日 第83号
発行者 有限会社津口ファーム鶏卵部

サンフレッチェ広島応援たまご タマゴ〜ル！！ 販売開始



「新鮮なたまごを食卓にお届けし、良質なたんぱく源として健康な食生活づくりに貢献する」という地域貢献の理念と「日本一の育成・普及型クラブを目指し、サッカーを通じた青少年の健全育成を図る」サンフレッチェ広島の地域貢献の理念が合致し、「サンフレッチェ広島応援たまごタマゴ〜ル」の販売を開始しました。

チームは、厳しい戦いが続いておりますが、苦しい時こそ、自らアクションを起こすことでチームを支えていきたいという思いが募り、発売を決意しました。たまごが私たちの身近な食材であるようにサンフレッチェ広島も私たちの身近な存在として応援して参りたいと思っております。



(宅配用は紙パック店頭販売は透明パック)

「毎日のたまご」で117歳 まで生きた世界最高齢の イタリア人女性が死去

エマ・モラーノさんは、1899年11月にイタリア北西部で生まれ、今年の4月に世界最高齢の117歳でお亡くなりになりました。彼女は、長生きの秘訣については、遺伝と毎日卵を食べることを上げました。病気がちだった幼いころ医者に勧められ、毎日3個欠かさず90年間食べ続けたそうです。



連載エッセイ第2話

商店街のたまご屋さん

さてさて、場面はわかります。先ほどお買い物した女の子。買ったばかりのたまごを抱え、ニコニコ笑顔で商店街を歩きます。そのまましばらく歩いた、その先で着いたそこは商店街の外れにある公園でした。

そして、そのままトイレに。待つことしばし、現れたのは女の子。だけれど、さっきと格好がちがう制服からパステルピンクの運動服に模様替え。フードからのびたウサギ耳が可愛いらしい。背負ったリュックをひとまず下ろし、中に腕を突っ込み引っ張りだすは、至極普通の包帯二巻き。それを慣れない手つきにて、両手にぐるぐる巻き付ける。ちょっと見、ケガはないようで一安心。巻き終わったら、お次に取り出したのは真っ赤なタオル。こいつをハチマキよろしくキリリと締めて、どうやら準備は終わった様子。なにやら映画のロッキーを真似ている様子。……………

この先は、どうなることやら……………(つづく)

(筆者は、生産部所属のシモちゃんこと下村君)